

## NUMO地層処分事業の理解に向けた選択型学習支援事業(2024)

### 事前勉強会のプログラム

主催：NPO 法人シンビオ社会研究会

日時：2024年11月14日(木) 14:00~16:40 (開場 13時45分)

会場：京都大学宇治キャンパス京都大学エネルギー理工学研究所本館5階会議室(N571E)

およびZOOMによる

交通：JR奈良線黄檗駅または京阪電車宇治線黄檗駅下車(会場への地図は添付ファイルまたは[こちら](#))

#### 【趣旨】

当会は先端エネルギー科学への次世代および一般社会に対するパブリックアウトリーチ活動に取り組んでいますが、このたびその取り組みの一環として、原子力文化財団による地層処分事業の理解に向けた選択型学習支援事業(2024)に応募のところ2024年下期に採択されました。なお提案した選択型学習は当会の役員および顧問全員を参加メンバーとして取り組むものですが、今年度は6名のメンバーが青森県六ヶ所村の核燃サイクル施設を2024年11月27-28日に施設見学を行い、その後学んだ結果をまとめて社会一般に発信することとしています。

この事前勉強会では、とくに本年度の当会の活動計画を簡単に紹介するとともに、実際に次世代へのトランスサイエンス問題の教育に携わっているメンバーから話題提供してもらおう一方で、日本原燃での業務経験の深いご専門の方に核燃施設の概要をご講演いただいて質問に答えてもらい見学先の核燃施設についての予備知識を深めるものとなりました。

折角の機会ですので、この事前勉強会を当会会員のみならず一般からも参加いただいて実施したく、皆さまの多数のご参加を期待しています。

#### ==== プログラム =====

前半司会 門 信一郎(かど しんいちろう)氏

#### 1. 当会の今年度の計画と見学会メンバーの紹介 (14:00-14:15 10分) 吉川榮和シンビオ会長

配布資料は・・・[こちら](#)

#### 2. 見学会メンバーからの話題提供 (14:15~14:45 30分(発表20分質問10分))

講演表題：「トランスサイエンス問題に関する討論型世論調査法についての実践研究」

講師：岩切 宏友(いわきり ひろとも)氏(琉球大学教育学部教授) NPO 法人シンビオ社会研究会顧問

#### 【略歴】

2000年九州大学博士後期課程単位取得退学、

同年九州大学応用力学研究所助手

2003年博士(工学)取得

2008年琉球大学教育学部准教授

2016年琉球大学教育学部教授

## 【講演要旨】

トランスサイエンス問題とは 原発の高レベル放射性廃棄物の地層処分場決定のように関連科学技術に携わる専門家だけでなく、広く社会一般の人々の参画を得て決めていくべき科学技術の問題を言います。ここでは 講師の取り組んでいる中学校や高校の生徒を対象とした取り組みの一端を紹介いただきます。

配付資料は・・・(11/11 現在作成中)

-----休憩 15分-----

後半司会 森下和功(もりした かずのり)氏

3. 核燃施設の概要の講演と質疑応答 (15:00~16:30 90分) 大塔 容弘 (おおとう よしひろ) 氏

講演表題：『むつ小川原開発区域と原子燃料サイクル施設』

講師：大塔 容弘 (おおとう よしひろ) 氏 (元 日本原燃(株)取締役)

### 【略歴】

昭和 44(1979)年 3月 東工大修士課程修了

昭和 44(1979)年 4月 (財)電力中央研究所入所

昭和 55(1980)年 12月 (財)電力中央研究所退所

昭和 56(1981)年 1月 日本原燃サービス(株)入社

平成 21(2009)年 6月 日本原燃(株)取締役退任

平成 21(2009)年 6月 (株)青森原燃テクノロジーセンター社長就任

平成 26(2014)年 6月 (株)青森原燃テクノロジーセンター社長退任

### 【講演要旨】

- ・六ヶ所村への核燃サイクル施設立地の歴史的経緯
- ・日本原燃サイクル施設の概要
- ・サイクル施設立地後の六ヶ所村の展開
- ・質疑応答

4. 今後の予定と閉会の辞 (16:30~16:40 10分)

吉川榮和シンビオ会長

散会 16:40